

## ロシアによるウクライナ侵略を断固糾弾し、ロシア軍の即時撤退を求める決議

2月24日、ロシアは一方的に「独立」承認したウクライナの東部地域にロシア軍を侵攻させるとともに、ウクライナへの軍事攻撃を始めた。これはウクライナの主権と領土を侵し、国連憲章、国際法を踏みにじる、まぎれもない侵略行為であり、断固糾弾する。ただちに軍事行動をやめ、撤退させることを強く求める。

プーチン大統領は同日の演説で、今回の軍事行動はウクライナ東部地域の「要請」を受けたもので、国連憲章51条の「集団的自衛」だとしている。しかし、一方的に「独立」を認めた地域・集団との「集団的自衛」などありえず、国際法上まったく根拠がない暴論である。

また、プーチン大統領は、ウクライナの「脱軍事化、脱ナチス化」を進めるとのべ、ウクライナ全土でロシア軍を展開させているが、ウクライナを独立国・主権国家として認めない態度であり、厳しく非難する。

プーチン大統領は、この侵略行為にあたって、ロシアが核兵器大国であることを誇示し、欧米の批判や制裁の動きに対抗する姿勢を見せている。核兵器で世界の諸国を威嚇するものであり、今日の世界において、決して許されるものではない。

ロシアの蛮行を許せば、国際秩序が保てなくなる。

ロシアによるウクライナ侵略を糾弾し、ロシア軍の即時撤退を求める国際世論が急速に広がっている。

また、国連総会はウクライナ危機をめぐる緊急特別会合で「ロシア軍の完全撤退などを要求する決議」を賛成大多数で可決した。

野々市市は東京2020オリンピックに出場予定であったウクライナトランポリンチームの事前合宿を受け入れており、ウクライナと野々市市民は交流を築いてきたところであり、絆も深い。

よって、野々市市議会は、ウクライナ政府・国民に連帯し、ロシアによるウクライナ侵略を断固糾弾するとともに、ロシア軍の即時撤退を強く求めることをここに決議する。

令和4年3月7日